



はんだ山の風



Contents

- P2 病院長挨拶 浜医大広報誌 ～はんだ山の風～
病院長 瀧川 雅浩
- P2 新任教授の紹介
第一内科教授 宮嶋 裕明
- P3 「サマーコンサート」が開催されました!
医事課 医事企画係
- P3 病院再整備計画について —新入院棟の完成から外来棟の改修へ—
副病院長 小林 利彦
- P4 シリーズ最先端医療「術中3D-CTとナビゲーションを使用したの脊椎手術」
整形外科教授 松山 幸弘
- P5 病気 ここが知りたい「アトピー性皮膚炎」
病院長 瀧川 雅浩
- P5 平成22年度第1回医療安全講演会について
医療安全管理室
- P6 ご案内「新病棟の個室について」
医事課 医事企画係
- P7 地域医療連携について
医療福祉支援センター副センター長(副病院長) 小林 利彦
- P8 交通のご案内



浜松医科大学医学部附属病院 常勤・パート看護師募集

お問い合わせ

- 人事課任用係 TEL.053(435)2117
- 看護部事務室 TEL.053(435)2627

病院の理念

患者さんの人権を尊重し、地域の中核病院として安全で良質な医療を提供する。
さらに、大学病院として高度な医療を追求しつつ優れた医療人を養成する。

基本方針

- 患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療の提供
- 社会・地域医療への貢献
- 良質な医療人の育成
- 高度な医療の追求
- 健全な病院運営の確立



浜医大広報誌 ～はんだ山の風～

病院長 瀧川 雅浩

浜松医科大学病院について、是非お伝えしたいメッセージが3つあります。

まず、病院では、いろいろな職種の人々

が、様々な仕事を協力しておこない、その中で、患者さんの治療にあたります。私たちが、もっとも、大切に思っていることは、患者さんの人権を尊重する、ということです。医療にかかわる人々は、ベストと思う医療を患者さんに行います。忘れてはならない大切なことは、患者さんの意思を無視した医療を押し付けてはいけない、ということです。ですから、浜松医科大学病院では、患者さんの人権尊重という点から、患者さんと相談しつつ、満足していただく治療をおこなっています。

つぎに、浜松医科大学病院は、浜松のみならず静岡県地域医療を担う中核病院として、安全で良質な医療を提供しています。そのために、医師、看護師、薬剤師、レントゲン技師、手術材料

を扱う方、事務に携わる方など、非常に多岐にわたる職種の方々が、24時間体制で仕事をしています。しかも、医療は日進月歩します。浜松医科大学病院では、最新で最先端の医療、医術を提供しています。患者さんの治療は、大学病院だけでなく、近隣の病院、診療所等と連携して、初めてうまくいくのです。ですから、私どもは、地域連携を強化し、社会・地域医療に貢献したいと思っています。

最後にそして最も大切なことは、大学病院として、優れた医療人を養成することが求められています。患者さんの診察に、若い医師・看護師たちが勉強のため、付き添うのも、そのためです。どうか、この点をご理解ください。

このように、大学病院は様々な機能を果たすことが求められています。広報誌「はんだ山の風」では、浜松医科大学病院で起きている最もホットな出来事を、できるかぎりリアルタイムで、患者さんにご家族の方にお伝えしようと思っています。温かい眼で見守っていただければと思います。

新任教授の紹介

第一内科教授 宮嶋 裕明

第一内科は、大学医学部で消化器内科学、腎臓内科学、神経内科学について医学生の教育と研究を行うとともに、附属病院では消化器、腎臓、神経の3つの領域に関する病気の診療を担当しています。私は、浜松医科大学を昭和56年卒業の第2期生で、神経内科が専門です。なかでも神経難病といわれる、ギラン・バレー症候群、筋ジストロフィー症、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症/多系統萎縮症、パーキンソン病、アルツハイマー病などの認知症を中心に臨床と研究を行ってきました。神経内科は比較的新しい医学分野で、30年前は診断すら難しい状況でした。しかし、地道な研究により、新しい病気や病気の起こるメカニズムを遺伝子のレベルから解明することができ、徐々に症状の進行を押さえることができるようになってきました。お陰様で、昨年は「運動障害をきたす神経疾患」の国際会議において、症例解析オリンピックの銀メダルを受賞しました。

浜松医科大学の内科は開学当時より、9つの内科領域が重ならないよう3つの内科に配分されて



おり、新人が内科医を志す場合は3つの内科すべてを回って勉強するのが基本で、専門医になる前に総合的な内科医であることが求められてきました。昨今の新臨床研修制度を先取りすること30年、画期的な歴史を持ちます。そうやって育った第一内科の医師は、現在第一線で活躍している勤務医が約150名、開業医が約50名で、その8割以上が静岡県の医療に携わっています。また、総合的な内科医であるとともに専門の先端医療も行っています。神経内科の遺伝子診断、消化器内科のカプセル内視鏡やダブル・バルーン内視鏡検査、内視鏡的切除術、腎臓内科の腎組織診断、血液浄化療法など高い技術と豊富な経験を蓄積しています。

第一内科は静岡県の医療に貢献するとともに、世界に向かって新たな知識や技術を発信するように努力しています。

「サマーコンサート」が開催されました！

6月6日、病院多目的ホールで浜松医科大学生管弦楽団の皆さんによる「サマーコンサート」が開催されました。会場には開演前からたくさんの患者さんご家族が来場し、賑やかなムードの中、弦楽合奏による「アンダー・ザ・シー」「星に願いを」、吹奏楽による「風になりたい」「ムーンライトセレナーデ」などの美しく温かいしらべや、混合合唱による「涙そうそう」「やさしさに包まれたなら」の楽しい歌声が披露されました。

このサマーコンサートは、管弦楽団などに所属する学生たちが、入院患者さんを励ましたい、楽しいひとときを過ごしてもらいたいという強い思いから企画され、毎年恒例の行事となっているも

ので、学生たちの手作りにより行われています。

今年も、入院患者さんご家族に楽しいひとときを過ごしていただきました。浜松医科大学生管弦楽団の皆さん、ありがとうございました。

(医事課 医事企画係)



病院再整備計画について — 新入院棟の完成から外来棟の改修へ —



副病院長 小林 利彦

1974年、県内唯一の医学部として浜松医科大学が設置され、1977年には附属病院が開設されました。その後、約30年が経過し、老朽化した建物には診療面

での不具合も多く、患者のみならず、病院職員にも改築・新築への願いが強まっていました。

2005年より病院再整備計画に取り掛かり、昨年、2009年に新入院棟が竣工し、同年末には入院患者の一斉搬送が行われました。新入院棟は地下1階、地上8階であり、手術部、集中治療部、薬剤部、事務部門等を含め、入院診療機能をほぼ網羅した東西の病棟で構成されています。旧病棟で評判が悪かった6人部屋を廃止し、広めに設計した大部屋（4人部屋）以外は個室環境を充実させることで、より快適な入院生活を送っていただけるよう配慮しました。また、手術室は従前の10室から11室に増やし外来手術の中央実施を可能としたほか、ICUを9床から12床、NICUを6床から9床と増加させたことで、より高度な診療・周産期医療に

も対応できる環境を整えています。さらに、最上階には、浜松市街を一望できる展望喫茶を設けました。看護師配置数の問題もあり、一部稼働していない病床も有りますが、近日内にはフル稼働できる予定です。

一方、外来棟については、現在、再整備に向けた設計がまさに終盤を迎えています。2011年の初めに改修に着工し、2013年中頃の完成を予定しています。昨年新築移転した入院棟とは異なり、新外来棟は、現建物の改築・改修となりますが、これまで手狭であった救急部、リハビリテーション部、光学診療部、血液浄化療法部等の拡張や、医療福祉支援センターや患者サービス部門の充実を計画しています。また、現外来棟には、30年前の古いシステムが多々残されていますので、これを機会に、新たな大学病院として生まれ変わることを期待しています。

浜松医科大学の理念・基本方針にもありますが、高度な医療を提供しつつ、地域に貢献できる医療者を育成・養成する病院として、今後も診療・教育に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



術中3D-CTとナビゲーションを使用したの脊椎手術

整形外科教授 松山 幸弘



術中ナビゲーション

術中に3D-CTをとり、さらにナビゲーションを使用して脊椎手術をより安全に、そして確実に行う事が可能となってきています。

特に浜松医大整形外科で導入するナビゲーションシステムは最新で、画質もよく、より精度の高い手術を可能としてくれます。(図1)

たとえばどのように重度な脊柱変形を呈していても、正確にスクリューを刺入することが可能で、正常な脊柱を再建する事が可能となります。(図2, 図3)

このナビゲーションシステムを使用することにより、我々医師もより安心して難易度の高い脊椎手術や関節手術を行う事が可能となりました。

脊髄モニタリングの進歩

もう一つの進歩は術中脊髄モニタリングの進歩です。

手術中に神経機能が正常に働いているかどうか、また神経障害が生じていないかどうかを確認することを可能にするシステムです。

これは頭部運動野を電気刺激し、上肢、下肢の筋電図を導出することによって神経機能が正常に働いているかどうかを確認するものであります。

浜松医大整形外科では、術中に32個の筋電図を同時に導出でき、さらには運動神経のみならず感覚神経までも機能評価できるシステムを導入しました。このおかげで脊髄内にできる髄内腫瘍も麻痺を作らないよう、より安全に摘出することが可能となりました。

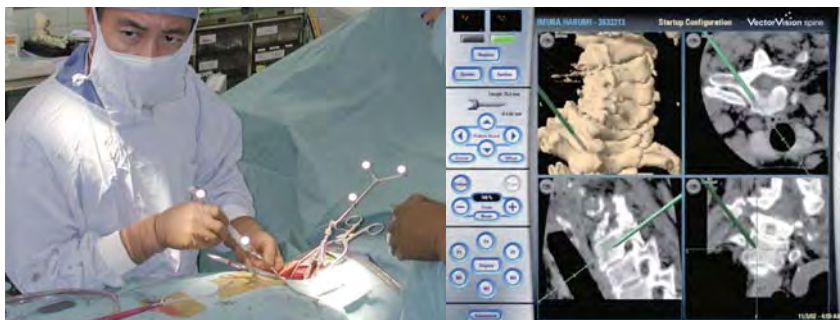


図1

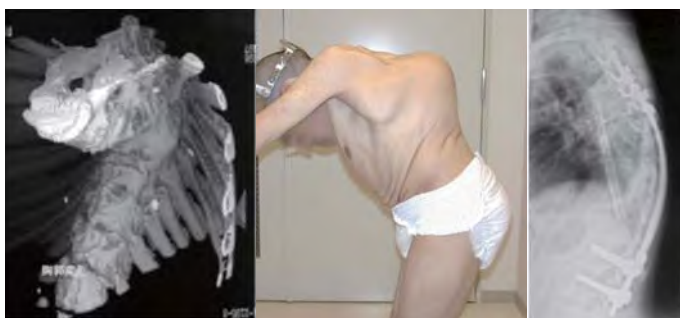
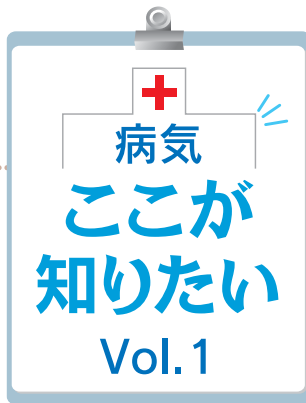


図2



図3



アトピー性皮膚炎

病院長 瀧川 雅浩

アトピー性皮膚炎は顔、首はじめ全身に、かゆみの強い発疹ができます。よくなったり、わるくなったりして、患者さんやご家族を悩ませます。地域により多少異なりますが、学童期の子どもの10～15%がアトピー性皮膚炎に罹患しています。アトピー性皮膚炎は多くの場合、生後6ヶ月頃、顔からじゅくじゅくした湿疹で始まります。1年を過ぎるころから、肌がざらざらして、関節部にかゆい発疹が目立ってきます。多くの子どもでは、症状は軽く、歳をとって大きくなれば、自然に治っていきます。ごく少数の方が、成人になっても、アトピー性皮膚炎が治りません。

治療ですが、3つの基本があります。まず、悪化させるような生活パターンを改善することです。着るものは肌触りの柔らかいものが良いでしょう。子どもの場合、食物アレルギーでかゆくなることがありますから、注意しましょう。また、ストレスはアトピー性皮膚炎を悪くします。家庭

の問題、職場の環境、友人関係等による精神的なストレスは避けたいものです。次に、スキンケアが大切です。アトピー性皮膚炎の患者さんは肌が乾燥しています。特に、冬の乾燥時期には、かゆみが強くなります。自分の肌にあった保湿剤を、風呂上がりに、しっかりと肌に塗り込んでください。最後に、飲み薬、塗り薬についてです。塗り薬は、ステロイド薬がベストです。症状にあわせて、塗ってください。顔にはタクロリムス軟膏をおすすめします。かゆみ止めとして、抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬をのみましょう。それでも、症状が治まらないときは、シクロスポリンという内服薬が、治療薬として承認されています。これら薬については、皮膚科、小児科の先生と相談の上、決められると良いでしょう。

浜松医科大学病院皮膚科では、10年以上前から、アトピー性皮膚炎教育入院を行っています。患者さんに、ここに書いたような内容を2週間かけて、じっくり勉強していただくのです。詳しくは、皮膚科のホームページにでていますから、ご覧ください。



平成22年度第1回医療安全講演会について

7月12日(月)に臨床講義棟大講義室において本学理事(評価・労務・安全管理担当)鈴木 修先生を講師として本年度第1回医療安全講演会を開催しました。今回は「法医学からみた医療事故の実態と対策」をテーマとして、鈴木先生のご専門である法医学者としての立場から、医療事故の実態、訴訟件数の推移、医療事故の実例と損害賠償額等についてご講演いただきました。

また、「人は誰でも間違える」ことから、万が一医療事故が発生した場合の具体的な対応手順及び医療事故防止のためのリスクマネジメント等について説明があり、出席者は真剣に聞き入っていました。当日は、医師、看護師、コメディカル等を含めて300名以上の職員が出席し、医療安全管理に対する職員の意識の高さを感じることができました。



(医療安全管理室)

ご案内 新病棟の個室について

本院は昭和52年11月の開院から30年以上が経過し、それに伴い建物及び設備の老朽化が著しくなったため、平成19年1月から病院再整備に着手しました。平成21年6月には待望の新病棟が竣工し、同年12月末に移転しました。

新病棟の建設に当たっては、「50年先を見据えた病院づくり - 光溢れる明るい病院 -」をスローガンに掲げ、患者さんが癒される居住空間の創出、患者アメニティの充実等に努めました。

特に、患者さんからご要望が多かった個室については大幅に増室し、患者さんのニーズに応じた療養環境が提供できるようになりました。それでは、新病棟における4種類の個室についてご紹介いたします。

個室A



各病棟南側の眺望が良い環境下に4室ほど設置しました。専用のユニットシャワー、トイレ、リクライニングチェアを有し、インターネット接続も可能です。室内照明は柔らかな間接光を主体とし、明るい色合いの木調の作り付け家具を備えています。ホテル感覚の療養環境を希望される患者さんに対応しています。

特別室L



産科病棟内に、自室内での陣痛(Labor)、分娩(Delivery)、そして回復(Recovery)までの療養生活を可能としたLDR室を1室設置しました。専用のユニットシャワーやトイレを有し、周産期をご家族と一緒にリラックスして過ごせる環境を提供しています。

個室B



各病棟北側の静かな環境下に7室ほど設置しました。専用トイレ、洗面所、リクライニングチェアを有し、インターネット接続も可能です。プライバシーを重視される患者さんのご要望に対応しています。

特別室S



病棟最上階に4床室分の広さ(42㎡)を持つVIP専用病室を1室設置しました。専用のユニットバス、トイレのほか簡単な調理ができるミニキッチンを備えています。内装はモトーンを基調とし、落ち着いた雰囲気醸し出しています。広大な窓からは24時間遷り変わる浜松市内の景観を一望できます。

地域医療連携について

医療福祉支援センター副センター長(副病院長) 小林 利彦

現在、私が所属している「医療福祉支援センター」には、「地域連携室」,「医療・福祉相談部門」,「患者支援部門」,「難病医療相談支援センター」,「肝疾患相談窓口」などが混在しています。メンバーは、瀧川病院長をセンター長として、私(小林)が副センター長、工藤看護師長を含む看護師3名、MSW3名、事務系職員10名の大所帯です。

センターの開設当初は地域医療連携の強化を目指し、開業医や病院からの紹介患者を増やすために、各施設への挨拶回りや医師会への参画、ホットライン電話の増設まで色々と試みました。その結果、従前、敷居が高いとされた大学病院へのアクセスが比較的容易となり、国立大学病院では珍しい「開放病床」も現在28床機能しています。また、電話・FAXを利用した事前予約も紹介患者の60~70%で利用されています。一方、入院患者が増えるにつれ、重篤な合併症やADL低下等が原因で自宅への退院が困難な患者も増加し、結果的に、適切な転院先を早期に検討・紹介する退院支援機能の強化が重要となりました。現在では、入院と同時に「退院困難度」をスケール化し、転院が必要と考えられる患者・家族には、早期からの介入を行っています。また、最近の傾向として、がん末期患者の「在宅緩和ケア」に熱心な開業医が増えており、当センターとしては、とても助か

っています。

地域医療連携に関連して、最近、求められている機能として「地域連携パス」の推進があります。これまでも、市内には「大腿骨頸部骨折」や「脳卒中」の「地域連携パス」がありましたが、在院日数等の縛りから当院は診療報酬加算の算定ができず、入院患者がこれらのパスの対象になることはあまりありませんでした。ところが、本年度、当院が「がん診療地域連携拠点病院」ということもあって、5大がん「地域連携パス」書式の市内統一化が進められています。未だ進行中のプロジェクトですが、近い将来、県西部地域のがん治療後患者が、同一の「経過観察手帳」を持ち歩くことも夢見ています。

このように、急性期から慢性期疾患まで、病院から診療所、そして在宅へとシームレスに医療・介護で繋がっていくシステムが求められています。従って、大学病院である当院においても、地域の基幹病院としての役割を担いつつ、周辺の医療・介護機関との連携を強化していく必要性を感じています。皆様方におかれましても、よろしくご指導のほどお願いします。



(中庭モニュメント)

外来診療日一覧

H22.8.1現在

診療科名	診療日										備考	
	初診					再診						
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		
内科 435-2632												
総合内科(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第一内科(消化器内科)	○	○	○	※○	○	○	○	○	※○	○		※午後診察のみ
(腎臓内科)	○	○	○		○	○	○	○		○		
(神経内科)	○	※○	○		○	○	※○	○				※午前診察のみ
第二内科(肝臓内科)	○	○	※○	○	※○	○	○		○	○		※紹介初診のみ
(呼吸器内科)	○	○		○	○	○	○		○	○		
(内分泌・代謝内科)	○	○		○	○	○	○		○	○		
第三内科(血液内科)	○	※○	○	○	○	○	※○	○	○	○		※午後診察のみ
(免疫・リウマチ内科)	○		○	○	○	○		○	○	○		
臨床薬理内科	○			○		○			○			
循環器内科	○		○	○	○	○		○	○	○		
ペースメーカー外来								※○				※午後(3ヶ月毎予約のみ)
精神科神経科 435-2635												
(初診・再診)	○	○	○	○	○		○	○	○			
(森田療法)								※○				※午後診察のみ
(児童思春期)							※○		※○			※午後診察のみ
(摂食障害)												
(心理検査)						○	○	○	○	○		
小児科 435-2638												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
(新生児フォローアップ)							※1○		※2○			※1午後診察のみ ※2第2・第4週のみ
(乳児検診)	※○					※○						※午後(予約のみ)
(内分泌)	○	○		※2○		※1○	○		※2○	○		※1は15時から ※2午前診察のみ
(心臓)				※1○	※2○				※1○	※2○		※1午後予約患者のみ ※2午後診察のみ
(血液)				※1○	※2○				※1○	※2○		※1午後診察のみ ※2第2・第4週午後から
(アレルギー)	※○					※○						※午前診察・15時から ※初診・予約患者のみ
(神経)		※1○			※2○		※1○			※2○		※1予約患者のみ ※2午前診察のみ (午後は予約のみ)
(腎臓)					※1○				※2○	※2○		※1午前診察のみ ※2午後診察のみ
第一外科 435-2641												
(呼吸器)					○			※○		○		※午後診察(第1のみ)
(小児)		※○					※○					※午後診察のみ
(消化器・内視鏡)	○				○	○				○		
(乳腺)	○	○			○	○	○			○		
心臓血管外科(初診・再診)	○		○		○	○		○		○		
第二外科 435-2642												
(初診・再診)	○	○	○		○	○	○	○		○		
(腸管)	○					○						
(食道・胃)			○					○				
(肝・胆・膵・門脈)					○					○		
(血管)		○					○					
光学医療診療部			○					○				
整形外科 435-2647												
(初診・再診)	○		○	※1○	○	○		○	※2○	○		※1午前紹介患者のみ ※2午前診察のみ
(教授外来、脊椎)	○			※○		○			※○			※午前診察のみ
専門外来(骨粗鬆症)				※○					※○			※午前診察のみ
(リウマチ)			※1○	※2○				※1○	※2○			※1午後診察のみ ※2午前診察のみ
(手・末梢神経)			○					○				
(脊椎)	○					○						
(腫瘍)			※○					※○				※午後診察のみ
(股関節)					※○					※○		※午前診察のみ
(肩関節)					※○					※○		※午後診察のみ
(膝関節)					※○					※○		※午後診察のみ
(小児整形)	※○					※○						※午後診察のみ

診療科名	診療日										備考	
	初診					再診						
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		
脳神経外科 435-2644												
(初診・再診)	○	○	○	○	○		○		○	○		
(脊椎)				※○					※○			※第2・第3・第4のみ
皮膚科 435-2650												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(アトピー外来)			○					○				
(光線過敏症外来)		※○					※○					※奇数月第4週のみ
(脱毛症外来)	○					○						
泌尿器科 435-2653												
(初診・再診)	○	○	○	○	○		○	○	○			
(結石外来)		○		○			○		○			
(排尿障害外来)		○	○				○	○				
(不妊症外来)	※1○				※2○	※1○				※2○		※1午後診察(第2週は休診)のみ ※2午後予約のみ
(前立腺密封小線源外来)		※○					※○					※午前診察のみ
眼科 435-2656												
(初診・再診)	○	○	○	○	○			○	○	○		
専門外来(網膜変性外来)						※○						※第4週午後予約のみ
(小児・弱視斜視外来)								※○				※午後予約のみ
(ロービジョン)										※○		※午後予約のみ
耳鼻咽喉科 435-2659												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
特殊外来(腫瘍外来)	○					○						
(耳外来)				○					○			
(めまい外来)		※○					※○					※午後予約のみ
(難聴外来・人工内耳外来)		○					○					
(睡眠時無呼吸いびき外来)					○					○		
(顔面神経外来)					○					○		
産科婦人科 435-2662												女性医師ご希望の方はお申し出ください
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(婦人科外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(産科外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(腹腔鏡外来)		※○					※○					※午後予約のみ
(不妊外来)						※○	※○		※○	※○		※午後診察のみ
(光療法外来)			※○					※○				※午後予約のみ
(女性漢方外来)	※○					※○						※午後予約のみ
(母親学級)							※○					※予約制
放射線科 435-2665												
(放射線治療外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		午前のみ
(血管内治療外来)		○		○			○		○			午前のみ
麻酔科蘇生科 435-2668												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		午前のみ
リハビリテーション科 435-2747												
(初診・再診)		○	○	○			○	○	○			
形成外科 435-2647												TELは整形外科と共用
(初診・再診)	○	○	○	○		○	○	○	○			午前診察のみ
歯科口腔外科 435-2673												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(唇顎口蓋裂外来)			○					○				
(インプラント外来)			○					○				
(顎補綴)			※○					※○				※診察日は外来にお問合わせください
(言語)			※○					※○				※診察日は外来にお問合わせください

① 診療受付時間

一般外来 午前 8時30分 ~ 午前11時まで
 専門外来

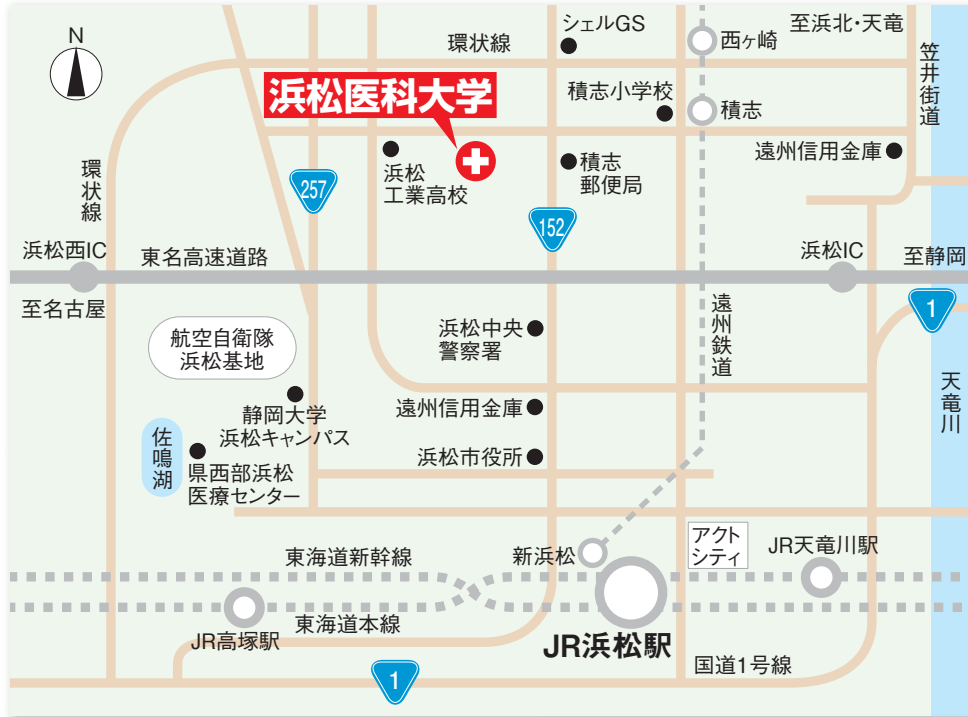
専門外来 午後 0時30分 ~ 午後 2時まで

② 休診日

土曜日および日曜日
 祝日法による休日
 12月29日~翌年 1月3日まで

③ 担当医師名はホームページ(<http://www.hama-med.ac.jp/>)でご確認ください。

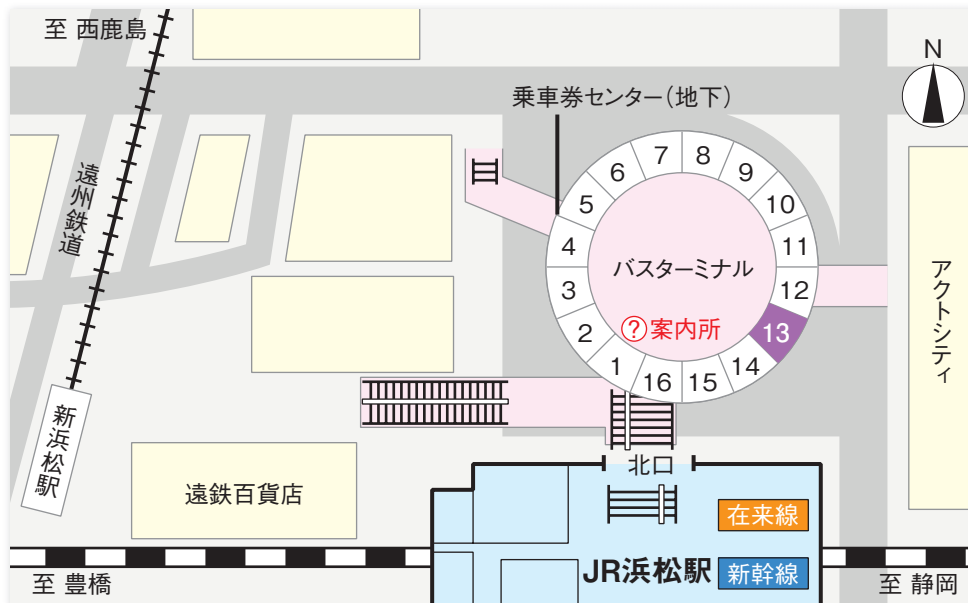
交通のご案内



●バスをご利用の方

バス乗り場	路線番号	路線名称等	所要時間	料金
13番ポール	50	磐田山の手線医大行き	約35分	410円
	57	医大循環(中央署まわり)	約35分	410円

●浜松駅からバスターミナルまで



病院広報 **ほんだ山の風** 第1号 平成22年8月発行

発行／浜松医科大学医学部附属病院広報推進委員会 〒431-3192 浜松市東区半田山1丁目20番1号
TEL.053(435)2111(代表) FAX.053(435)2153(医事課) Hpアドレス/ <http://www.hama-med.ac.jp/>